

# NIIGATA SEIRYO NEWS

2016/11 November

NO.15



10/29 および 10/30 の両日に開催された青空祭（大学祭）

## CONTENTS

### 01 EVENT

- ・学内外から多くの来場者を迎え、大盛況のうちに幕を下ろした「青空祭」

### 02 CLOSE-UP

- ・平成29年4月、新校舎が完成します！
- ・中部学院大学短期大学部と連携協定を締結しました

### 03 TOPICS

- ・熊本地震ボランティア活動および報告会を行いました
- ・地域の方々の居場所をめざして、『そらいろ子ども食堂』オープン！

### 04 TOPICS

- ・短期大学部学生有志「あがうたコーラス隊」が阿賀町の中学生とともに合唱を披露！
- ・「キャンパスからの提言フォーラム」で最優秀賞を受賞しました！
- ・平成28年度 看護学科卒業生交流会・打ち合わせ幹事会を行いました

### 05 REPORT

- ・新潟青陵学会 第9回学術集会を行いました

### 06 EDUCATION

- ・地域の皆さまを対象に、心理・子育て・コミュニケーションなど、幅広い内容の講座を開講

### 07 INFORMATION

- ・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部からのお知らせ

大 短

## 学内外から多くの来場者を迎え、 大盛況のうちに幕を下ろした「青空祭」



10月29日(土)、10月30日(日)に平成28年度青空祭を開催しました。2日目こそ天候に恵まれたものの、約半年の準備期間を経て迎えた初日は嵐に襲われました。無事に開催できたことを安堵しつつも集客への不安がありました。悪天候の中でも多くのお客様に来場いただき、学内は大盛況となりました。

初日はミス・ミスターコンテスト、そして逆ミス・ミスターコンテスト(男子学生は女装、女子学生は男装をしての出場)が行われました。出場者によるウォーキングや、多種多様な工夫が施された寸劇、特技の披露がされ、熱気に包まれていました。また初の試みとして、今年度は特別審査員に新潟ガールズ集団Lily&Marry'sの山田 彩乃さんをお

招きし、会場の熱狂を誘いました。

2日目には、Boys and Menさんによる、素晴らしいライブが開催されました。メンバーがステージから降りてパフォーマンスをされた場面では会場全体が歓喜の渦に包まれました。またライブ終了後には握手会が開催され、会場を1周するほどの長い列ができました。参加したみなさんには素晴らしい思い出になったのではないのでしょうか。

また、模擬店や作品展覧会、サークルやクラブによるステージ発表が2日間を通して行われました。美味しそうに食べ、作品に感嘆し、興奮を残した表情の学生やお客様を見るたび、私たち実行委員は幸せを感じました。

この青空祭が無事に成功したこと、また、私たちの心に多くの感動が生まれたことは、ご指導ご鞭撻いただいた教職員のみなさま、苦勞と喜びをともにした青空祭実行委員の仲間、模擬店やステージ発表に参加していただいた学生のみなさん、そしてなによりご来場いただいたお客様のおかげです。青空祭に関わっていただいたすべての方へ、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

【青空祭実行委員長】

大学学友会 会長 伊藤 薫乃

短大学友会 会長 稲葉 凜



大 短

 新潟青陵学会  
 第9回学術集会を行いました


平成28年11月5日(土)、新潟青陵学会第9回学術集会が行われました。

学術集会のテーマは「地域で支える子どもの未来」であり、基調講演では名寄市立大学社会保育学科の山野 良一先生から「子どもの貧困・その社会的構造」について講演いただきました。山野先生は『「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク』を立ち上げたお1人であり、過酷な生活に親子が追い込まれると抜け出せない社会と、それを許している日本の構造をわかりやすく説明してくださいました。

シンポジウムは、「子育てを支える地域の力」と題し、渡邊 タミ子先生(本学)を座長に、清野 直美先生(新潟田市役所)、久住 由紀子先生(にいがた子育てステーション)、藤田 みどり先生(元公立保育園)に、健康・生活・発達の視点か



ら取り組みをご紹介いただきました。また、会場からの質問にもあった保育所開設の反対運動の報道を受けて、子育てを応援してくれる地域づくりについても活発に討論されました。

基調講演とあわせ、参加者一同が子どもの貧困の凄まじさを知るとともに、だからこそ立ち上がって行動を起こしている地域の力も知る機会となりました。

ポスターセッションは看護・福祉・心理・教育の各分野より18題の発表があり、発表者を取り囲んで熱心に意見が交わされ、青陵学会ならではの交流の場となりました。

来場者353人をお迎えし、盛況のうちに学術集会を無事終えることができました。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

(新潟青陵学会第9回学術集会長 本間 昭子)



## 大 短 院

## 熊本地震ボランティア活動および報告会を行いました



平成28年6月25日(土)～26日(日)および9月24日(土)～28日(水)、熊本地震災害ボランティア活動を行いました。

6月は熊本県益城町で行われ、『Gakuvo』主催の活動に本学ボランティアセンターから学生3人が参加し、ブロック塀の解体や土嚢作り、避難生活をされている方のためのお風呂作りなどを行いました。力仕事も多く、復興の大変さを身を持って実感したと同時に、震災から2ヶ月、ずっと同じ風景で同じ活動をしているとお聞きし、人手不足の状況も目の当たりにしました。



9月は熊本県阿蘇郡西原村で行われ、大学院臨床心理学研究科1年生9人、教員4人、新潟市社会福祉協議会より2人の計15人が参加し、仮設住宅での生活に必要な家具の製作や、被災された方の自宅から不要になった家具の運搬などを行いました。被災された方々との交流を通して、被災者として困っているという部分だけではなく、地元の復興をめざす力強い姿勢も見られました。地震発生直後とはボランティアに求められるニーズも変化していることを感じました。

それぞれの活動の報告会には、どちらも学内外から40人ほどの参加があり、被害の状況や活動の様子、現地から学んだことを発表しました。今回の経験をもとに、引き続き自分たちができる支援について考えていきたいと思えます。



今回の経験をもとに、引き続き自分たちができる支援について考えていきたいと思えます。

## 大

## 地域の方々の居場所をめざして、『そらいろ子ども食堂』オープン!



平成28年10月15日(土)、新潟県内では初となる大学生(新潟青陵大学・新潟県立大学)が主体となって運営する子ども食堂『そらいろ子ども食堂』が、新潟市中央区の白新コミュニティハウスにてオープンしました。

学生たちはこの活動を通じて、子どもをはじめ地域の方々がふれあえる居場所づくりをめざしています。オープン当日は、子ども37人、大人31人、学生ボランティア20人のほか、地域のボランティアの方、寄付金、食材、お菓子、おもちゃや絵本を寄付してくれた方など、たくさんの方に参加していただきました。



そらいろ子ども食堂は、毎月第1木曜・第3土曜午後4時～8時まで開催しています。今後ともよろしくお願いたします。

## 運営メンバーの学生の声

10月15日(土)、そらいろ子ども食堂がオープンしました!! たくさんの方に参加していただき、とても嬉しかったです。

ハロウィンイベントではみんなでバスケットを作り、ワクワクしながらお菓子をもらっている子どもの姿が見られました。また、阿賀野市社協さんがおいしいポップコーンを作ってくれたり、食事もお菓子もたくさんの方に「おいしかった」と言っていたり、無事に初日を終わることができました。ボランティア参加してくれた方、食材、お菓子、おもちゃや絵本を寄付してくれた方への感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



これからも、そらいろ子ども食堂をよろしくお願いたします!

活動の様子はFacebookにて公開中です。ぜひご覧ください。  
 → <https://www.facebook.com/sorairokodomosyokudo/>  
 【お問い合わせ】sorairokodomosyokudo@gmail.com

## 大 短 院

## 熊本地震ボランティア活動および報告会を行いました



平成28年6月25日(土)～26日(日)および9月24日(土)～28日(水)、熊本地震災害ボランティア活動を行いました。

6月は熊本県益城町で行われ、『Gakuvo』主催の活動に本学ボランティアセンターから学生3人が参加し、ブロック塀の解体や土嚢作り、避難生活をされている方のためのお風呂作りなどを行いました。力仕事も多く、復興の大変さを身を持って実感したと同時に、震災から2ヶ月、ずっと同じ風景で同じ活動をしているとお聞きし、人手不足の状況も目の当たりにしました。



9月は熊本県阿蘇郡西原村で行われ、大学院臨床心理学研究科1年生9人、教員4人、新潟市社会福祉協議会より2人の計15人が参加し、仮設住宅での生活に必要な家具の製作や、被災された方の自宅から不要になった家具の運搬などを行いました。被災された方々との交流を通して、被災者として困っているという部分だけではなく、地元の復興をめざす力強い姿勢も見られました。地震発生直後とはボランティアに求められるニーズも変化していることを感じました。

それぞれの活動の報告会には、どちらも学内外から40人ほどの参加があり、被害の状況や活動の様子、現地から学んだことを発表しました。今回の経験をもとに、引き続き自分たちができる支援について考えていきたいと思えます。



今回の経験をもとに、引き続き自分たちができる支援について考えていきたいと思えます。

## 大

## 地域の方々の居場所をめざして、『そらいろ子ども食堂』オープン！



平成28年10月15日(土)、新潟県内では初となる大学生(新潟青陵大学・新潟県立大学)が主体となって運営する子ども食堂『そらいろ子ども食堂』が、新潟市中央区の白新コミュニティハウスにてオープンしました。

学生たちはこの活動を通じて、子どもをはじめ地域の方々がふれあえる居場所づくりをめざしています。オープン当日は、子ども37人、大人31人、学生ボランティア20人のほか、地域のボランティアの方、寄付金、食材、お菓子、おもちゃや絵本を寄付してくれた方など、たくさんの方に参加していただきました。



そらいろ子ども食堂は、毎月第1木曜・第3土曜午後4時～8時まで開催しています。今後ともよろしくお願いたします。

## 運営メンバーの学生の声

10月15日(土)、そらいろ子ども食堂がオープンしました！！たくさんの方に参加していただき、とても嬉しかったです。

ハロウィンイベントではみんなでバスケットを作り、ワクワクしながらお菓子をもらっている子どもの姿が見られました。また、阿賀野市社協さんがおいしいポップコーンを作ってくれたり、食事もお菓子もたくさんの方に「おいしかった」と言っていたり、無事に初日を終わることができました。ボランティア参加してくれた方、食材、お菓子、おもちゃや絵本を寄付してくれた方への感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



これからも、そらいろ子ども食堂をよろしくお願いたします！

活動の様子はFacebookにて公開中です。ぜひご覧ください。  
 → <https://www.facebook.com/sorairokodomosyokudo/>  
 【お問い合わせ】sorairokodomosyokudo@gmail.com

大 短

 新潟青陵学会  
 第9回学術集会を行いました


平成28年11月5日(土)、新潟青陵学会第9回学術集会が行われました。

学術集会のテーマは「地域で支える子どもの未来」であり、基調講演では名寄市立大学社会保育学科の山野 良一先生から「子どもの貧困・その社会的構造」について講演いただきました。山野先生は『「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク』を立ち上げたお1人であり、過酷な生活に親子が追い込まれると抜け出せない社会と、それを許している日本の構造をわかりやすく説明してくださいました。

シンポジウムは、「子育てを支える地域の力」と題し、渡邊 タミ子先生(本学)を座長に、清野 直美先生(新潟田市役所)、久住 由紀子先生(にいがた子育てステーション)、藤田 みどり先生(元公立保育園)に、健康・生活・発達の視点か



ら取り組みをご紹介いただきました。また、会場からの質問にもあった保育所開設の反対運動の報道を受けて、子育てを応援してくれる地域づくりについても活発に討論されました。

基調講演とあわせ、参加者一同が子どもの貧困の凄まじさを知るとともに、だからこそ立ち上がって行動を起こしている地域の力も知る機会となりました。

ポスターセッションは看護・福祉・心理・教育の各分野より18題の発表があり、発表者を取り囲んで熱心に意見が交わされ、青陵学会ならではの交流の場となりました。

来場者353人をお迎えし、盛況のうちに学術集会を無事終えることができました。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

(新潟青陵学会第9回学術集会長 本間 昭子)

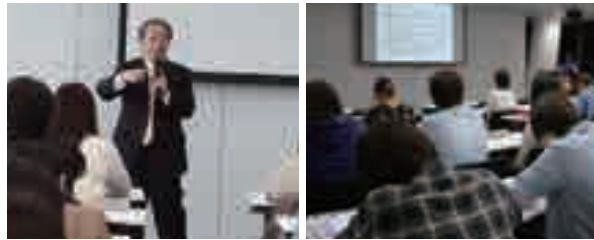


大 短

**地域の皆さまを対象に、心理・子育て・コミュニケーションなど、幅広い内容の講座を開講**

新潟青陵大学・短期大学部地域貢献センターでは、大学・短大の教育機能を広く社会に開放するために、地域の皆様から気軽にご参加いただける公開講座を開催しております。平成28年度後期講座は10月よりスタートしており、心理・子育て・コミュニケーションなどの全10講座を開講中です。

今後開講される講座は以下のとおりです。日程が近い講座もございますので、受講をご希望の方は下記までお問い合わせください。


**平成28年度 後期公開講座**

	講座タイトル	開催日時	受講料	講師
2016年 中国経済・外交 シリーズ 第5弾	第1回: 人民元国際化の動向と展望	12月3日(土) 9:00~10:30	各回 1,000円	孫 犁冰(新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科 准教授)
	第2回: アジア投資銀行(AIIB)の役割と 「一帯一路」構想	12月3日(土) 10:40~12:10		
	第3回: 中国対外貿易動向と自由貿易協定 (FTA)	12月17日(土) 9:00~10:30		
	第4回: 世界最大の観光市場に成長した 中国と日本のインバウンド誘致	12月17日(土) 10:40~12:10		
こころの"サプリ" Part2 ~こころの健康 づくりのために~	第1回:あなたの強みを活かす! こころのトリセツ(取扱説明書) ~ポジティブ心理学を活用したストレス対処法~	12月7日(水) 19:00~20:30	各回 1,000円	【第1・3回】 齋藤 恵美(新潟青陵大学 福祉心理学部 助教) 【第2・3回】 碓井 真史(新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科 教授)
	第2回: "やる気"を科学する ~モチベーションでストレス撃退~	12月14日(水) 19:00~20:30		
	第3回: 心の健康Q&A あなたの疑問に答えます	12月21日(水) 19:00~20:30		
ベートーヴェンのピアノソナタを聴こう!第4弾 ~ピアノソナタでも「田園」?!~		2月12日(日) 10:30~12:30	2,000円	栄長 敬子(新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 准教授)

地域貢献センターでは、多様な人々があたりまえの生活を地域社会で営むための条件である「インクルージョン(ふわりとつつむ)」をキーワードとして、毎年度具体的なテーマのもとに市民の方々を対象とした企画講座を開講

します。初回、平成28年度のテーマは「発達障害」です。

今年度の講座は多くのお申し込みをいただいたため、すでに申込受付を終了いたしました。次年度の開講予定は2~3月頃、本学HPにてお知らせいたします。

**平成28年度 新潟市・BSN共催 地域貢献センター企画公開講座 「ふわりとつつむ新潟青陵インクルージョン講座」 ※申込受付終了**

講座タイトル	開催日時	受講料	講師
第1回: 発達障害児・者への理解と支援	11月20日(日) 13:00~16:00	各回 1,000円 (4回通し3,000円)	横谷 謙次(新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科 准教授)
第2回: ミニ・シンポジウム: なやまないで!子どもの発達障害 -保育からはじまるサポート・ネットワーク-	11月27日(日) 13:00~16:00		コーディネーター: 仲 真人(新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 准教授)
第3回: メンタルヘルスと発達障害	12月10日(土) 13:00~16:00		村松 公美子(新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科 教授)
第4回: 障害のある人もない人も 地域社会で共に生きるために	12月17日(土) 13:00~16:00		平川 毅彦(新潟青陵大学 福祉心理学部 教授) 榎屋 清則 氏(発達障害当事者、元新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例策定委員)

公開講座および地域貢献センター企画講座のお問い合わせは

4大学メディアキャンパス 公開講座担当

新潟市中央区万代3-1-1  
http://www.n-seiryu.ac.jp/

TEL : 025-278-3875  
E-mail : ex@n-seiryu.ac.jp

### 今後の入学試験日程

#### ●新潟青陵大学

入試区分	学科(コース)	出願期間 (締切日16:30必着)	試験日	合格発表 (13:00)
AO入試 二次募集	社会福祉学科 福祉ケアコース	平成28年 12月1日(木) ～22日(木)	随時	随時
一般入試	全学科	平成29年 1月10日(火) ～26日(木)	2月4日(土)	2月15日(水)
センター試験 利用入試 (前期)			-	
センター試験 利用入試 (後期)		平成29年 2月27日(月) ～3月9日(木)	-	3月16日(木)

#### ●新潟青陵大学短期大学部

入試区分	学科(コース)	出願期間 (締切日16:00必着)	試験日	合格発表 (13:00)
一期試験	全学科	平成29年 1月11日(水) ～19日(木)	1月29日(日)	2月6日(月)
二期試験		平成29年 2月22日(水) ～28日(火)	3月8日(水)	3月14日(火)
AO入試 二次募集	人間総合学科 (人間総合コース/介護福祉コース)	平成28年 11月22日(火) ～12月26日(月)	随時	随時
AO入試 三次募集	<small>※出願期間に変更があった場合は本学HPに掲載します。</small>	平成29年 2月7日(火) ～3月17日(金)		
特別 選抜試験 (留学生)	全学科	平成29年 1月11日(水) ～19日(木)	1月29日(日)	2月6日(月)

#### ●新潟青陵大学大学院看護学研究所

入試区分	出願期間 (締切日16:30必着)	試験日	合格発表 (13:00)
後期試験	平成29年 1月30日(月)～2月9日(木)	2月18日(土)	3月1日(水)

- 出願の際は、必ず平成29年度学生募集要項で詳細を確認のうえ、出願してください。
- 新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科は募集定員を満了したため、募集を終了いたしました。
- 新潟青陵大学編入学生は募集定員を満了したため、募集を終了いたしました。

### 夏のオープンキャンパスが終了しました

大学7/24、8/6、8/7、短大は6/19、7/10、7/30の各3日間で、夏のオープンキャンパスを開催しました。各回とも暑い中での開催となりましたが、学生と教職員が一丸となって参加して下さった高校生のみなさんを盛り上げ、充実したオープンキャンパスになりました。参加して下さった高校生のみな



さん、保護者の方々、ありがとうございました。

平成29年3月には、新高校3年生・2年生の方を対象としたオープンキャンパスを開催予定です。多くの方のご来場をお待ちしております！

### 平成28年秋の叙勲 受章のお知らせ

このたび、清水 不二雄 新潟青陵大学前学長・名誉教授が、平成28年秋の叙勲において、瑞宝中綬章を受章されました。内閣府では、春秋叙勲として年2回、各界の功労者に対して叙勲を授与しており、瑞宝中綬章は、公務や公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者に贈られる勲章です。



このたびの受章は、清水前学長・名誉教授の長年にわたる教育と研究への多大な貢献が評価されたものです。


本学にとりましても誠に慶賀なことであり、心よりお祝い申し上げます。

### 編集後記 NIIGATA SEIRYU NEWS 2016/11 November No.15

冬に向い、日一日と寒さが募ってまいりましたが、大学・短期大学部新校舎工事は来年4月の完成に向けて急ピッチで進んでいます。

前号からこれまで、様々な活動が行われてきました。その多くが学生そして教職員が地域や社会とつながり、発信していく取り組みです。変化する社会に対応して自ら考え、行動できる人材の養成が大学に求められています。アクティブ・ラーニング(能動的学習)と呼ばれる教育手法は、その手段の一つですが、本学のような、地域密着型の人材養成大学は、地域・社会こそがアクティブ・ラーニングのフィールドであるとともに、教員にとっても貴重な研究・実践の場となっております。新しい校舎には、学生が自主的に集い、議論できるスペースが多く設けられ、そこでトレーニングを積んだ学生が地域での実践に出ていきます。引き続きご指導・ご協力をお願い申し上げます。

(事務局長 栗林 克礼)

 **新潟青陵大学**  
**新潟青陵大学短期大学部**

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地  
Tel : 025-266-0127(代) Fax : 025-267-0053  
URL : <http://www.n-seiryu.ac.jp>

[オープンキャンパス・入学試験に関するお問い合わせ]  
学生募集・入学試験課

Tel : 025-368-7411 Fax : 025-266-9642  
E-mail : [pr4@n-seiryu.ac.jp](mailto:pr4@n-seiryu.ac.jp)